



明治大学校友会豊島区地域支部会報

2015年 第50号

http://toshima.meiji-shikon.net/

豊島支部 NEWS

## 恒例・暑気払いに たくさんの仲間 が参加。



豊島区地域支部の三大イベントの一つである恒例の暑気払いが、平成二十七年八月一日十八時から第一イン池袋「ピノ」で開催されました。

夕方ではありませんでしたが連日の酷暑の名残が残っている中、二十代から八十代までの校友約九十名近い方々にご参集頂き、宴会場「ピノ」は文字通り立錐の余地がないほどで今までにない大盛況でした。

今回は少し趣向を変え開会の挨拶の前に、東京音楽大学現役の学生で編成されており、東京音楽大学現役の学生で編成されています。 Trombone Quartet Skippin”によるウエルカム演奏で校友の皆様をお迎えし、そして開会の挨拶も三浦昭生支部長からではなく、白砂正人副支部長が支部長代行のお披露目として開会の挨拶を行いました。



(写真下) なお、三浦支部長は、豊島区地域支部を含む7地域支部(練馬区、文京区、荒川区、北区、板橋区、西東京市、豊島区)をまとめた東京都北部支部支部長に就任されましたので、北部支部の取りまとめに重点を置かれることになり、今後の豊島区地域支部の運営は白砂正人支部長代行を中心に行

うこととなります。

また、乾杯は今回初めてお願いしました後藤孝男監査のご発声で一同杯を掲げました。司会進行役は、長尾睦子常任幹事と、劇団ムジカフオンテ知久晴美代表のご両人(写真右下)にお願いして華やかにスタートしました。



れご挨拶を頂き、更に会場内は盛り上がりました。

高野区長のご挨拶後、東京音楽大学” Trombone Quartet Skippin”による暑気払いに相応しい曲を中心に演奏をバックに第一インの美味しいお料理とお酒を堪能致しました。



初参加として、現役の学生を含め若手の方々が数多く参加頂きましたので、お一人お一人に自己紹介を行って頂き大変盛り上がりを見せました。

その後、豊島区地域支部旗をバツクに初参加者全員での記念写真を撮りました。(写真右) なお、豊島区役所の幹部職員で校友の方々も多数参加され、各人から自己紹介を頂き豊島区役所における明大パワーの凄さを実感した次第です。そして、今回もご公務のお忙しい時間を割いて、特別ゲストとして豊島区高野之夫区長(写真下)が参加さ



また、豊島区地域支部が後援として全面的にバックアップしております溝田勝彦常任幹事が団長を務めておられます「明治大学マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ」の記念すべき第一定期演奏会のご案内を溝田団長から行って頂きました。

校歌斉唱を応援団出身の三森勲副幹事長のリードにより、参加者全員で円陣を組んで暑さを吹っ飛ばす大合唱となりました。その余韻が残っている中で、参加者全員の集合写真撮影が行われ全員の素晴らしい笑顔が大変印象的でした。

### 【報告】

幹事長 昭和四十七年法学部卒

板橋光一(文責)

# マイ・カンパニー

—わたしの会社—  
株式会社ガイアソリューション  
小野裕之(61年法学部卒)

この度は、弊社のPRのチャンス  
を頂き誠に有難  
うございます。  
私は、昭和三十  
六年に栃木県に  
生まれ、栃木高  
校を卒業し明治  
大学に入学致し

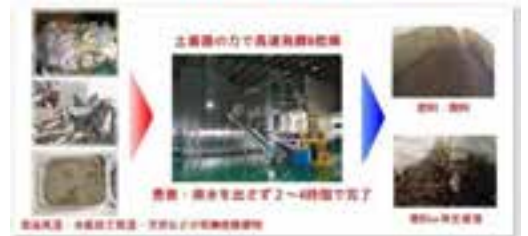
ました。在学中に事業に目覚め、卒業時には、就職活動をせず自営業の道に入りま  
した。サラリーマンを一度も経験しない、  
山あり谷ありの人生となりました。  
そしてこの春、池袋に事務所を持ち、明大  
校友会の豊島支部に入会させて頂きまし  
た。最初から、三浦支部長をはじめ、先輩  
方にとっても友好的に受け入れて頂き本  
当に有り難くこれからがとて楽しみです。  
私は、元々健康食品、健康器具、医療器  
具などを三〇年以上扱ってきました。一  
四年前、手がけた水処理器が、三年目で年  
商七十億と大ブレイクしたのですが、メー  
カーのトラブルで3年で終焉となりました。  
これが、環境改善に貢献する製品だったの  
で、「地球の為」のセミナーを全国で五〇〇  
〇回くらい主催致しました。それ以来、(株)  
ガイアソリューションという法人を設立し、  
健康と環境をテーマの仕事をしておりま  
す。この春からは、二つの新規事業に集中

しております。

一つ目は、**生ゴミ**  
**などを2〜3時間で**  
**バイオマス燃料などの**

**資源にしていまう**世

界的にも革命的技  
術です。今現在も埋  
めるか燃やすしかな  
い、コストがかかり続  
け環境に悪い全ての  
有機物を、極めて低  
コストで無害で利益を生む物にし、電力を  
生みます。そしてその時の熱で海水を飲め  
る水にすることで出来まます。日本の会  
社のもので、中国やフィリピンの政府など  
が導入し、絶賛され、世界中から問い合わせ  
が来始めました。待ったなしの環境問題  
に大きく貢献出来るのでより多くの方々  
にお力をお借りしたいと思つて居ります。



二つ目は、健康面で、**水素風呂**を普及  
すべく取次店とオーナーを募集していま  
す。週間ダイヤモンドなどに「3人に1人が  
認知症、2人に1人がガン！」などとてた  
ように医療費も年金も限界を超えていま  
す。そこで、飲む水素水がここ数年で大変  
なブームですが、その道の第一人者は水素  
がたつぷりと入ったお風呂に入る事が、遥  
かに効果的と言っています。それをたった  
の三五〇〇円のレンタルで、家族全員が毎

日恩恵を受けられるとい  
うのは健康産業の革命だ  
と感動しました。

地球上の全てとも言え  
る物は、酸化との戦いが  
宿命です。酸化＝老化・錆びる・病気の引  
き金！水素は、酸化を還元します。あま  
りにも素晴らしい結果が出始めたので、兵  
庫医科大学の先端医療研究所と提携しこの  
7月に水素医療研究所が設立されまし  
た。



トヨタも政府も都知事の発言と、様々な  
分野で「水素の時代到来」を確信します。  
環境にも健康にも水素が多なる貢献を  
します。

微力ながらも、地球環境と人様の健康に  
お役に立てる仕事で、自分も家族も幸せ  
になれるよう結果を出していきたいと活動  
しています。明治大学でのご縁に少しはお  
役に立てる事が出来るように早くなりた  
いと思つています。



上の写真は、私と妻  
の薫子、そして息子の  
獅音です。

※東京事務所は、豊島区池袋三丁目二八  
ノ二九 お問合せは 090-1808-6695

メールは [info@gaias.com](mailto:info@gaias.com)

## ●会報編集後記

今回は、一面で紹介している暑気払いに初  
めて参加してくれた仲間のショート・ユメン  
トを紹介します。

▼石樽督和(いしづね まさかず)さん

理工学部二〇一四年博士後期課程修  
了

現在、建築学科の助教をしております。  
本日は豊島区に関わる素晴らしい諸先輩  
にお会いし、いろいろなお話を伺うこと  
ができ、とても楽しい会でした。

▼今井迪代(いまい みちよ)さん

政治経済学研究科博士後期課程  
博士課程に在籍しつつ、地域の課題を  
ビジネスを通して解決することを応援す  
るNPOで働いております。明治という  
一点でここまで沢山の方とつながれて本  
当に楽しかったです。明治は大学院から  
なので、実はマトモに校歌を歌ったこと  
がなく、直前にYouTubeで見て練習したの  
は、こだけの話です……！

## ●皆さんウエルカム！(行事予定)

平成二十七年年度総会・懇親会

及びシンポジウム

日時 平成二十七年十一月十四日

十八時～二十一時

場所 豊島区勤労福祉会館六階大会議室

(豊島区西池袋二ノ三七ノ四)

電話 〇三・三九八〇・三三三



# 明治魂を伝える



昭和五十七年工学部建築学科卒・五十九年修士修了  
株式会社マキユアス 代表取締役

## 猪瀬 典夫

昭和五十三年、生まれ故郷の栃木県氏家町（現、さくら市）から東京を通り過ぎて川崎市多摩区生田に下宿しました。明大工学部に進学した先輩・同級生の他は、東京の明治大学に行ったことになっていましたが、実際は神奈川県でした。生田の下宿の立地環境は、小田急線の南に聳える大学の対岸の丘陵地の南斜面の下で、朝にはキジのような鳥が鳴く、自然豊かな環境でした。氏家の実家よりも田舎！

4部屋の下宿は、偶然全室入れ替えで、私その他は明治の農学部1名、専修2名で、風呂なし共同トイレ、4畳半一間で、机、製図版、書棚、こたつを

置き、寸分の余裕もない空間からの学生生活のスタートでした。

1年で下宿を出て、向ヶ丘遊園のアパートに引越し、結婚するまでの7年間、母校のそばに居住していました。

学生時代は、理科部連合会建築計画研究部に入部し、酒、合コンなどなどを先輩に教えていただいたお礼に、自分のテスト勉強やレポート作成などを後回しにし、徹夜で4年生の卒業設計を手伝うという献身的な生活でした。

建築計画研究部では、毎年研究テーマ設定に基づき、1年間の成果を設計・模型・パネル作成し、駿台祭の建築系4サークル合同の建築展で発表していました。建築学徒の宿命で、課題提出前は徹夜するという習慣から、4サークルが大学製図室を1週間占拠し、泊まり込みで創作活動に取組みました。思い出深い研究発表テーマは、2年生時の駿河台キャンパス改造計画です。高層化への反対と既存建築物のリノベーション提案で、私は、記念館の改修計画を担当し、司法試験勉強中の研究室や応援団の部室に測量やヒアリングに伺って、改修計画を作成しました。現在の高層タワーキャンパ

スの設備と環境が、明治大学発展の一助でもあると思いますが、薄暗い中でこの独特の雰囲気、駿河台記念館が懐かしいです。



また、年間活動を「つみき」という機関紙にとりまとめ、3年間の活動を終了することになっており、私も第二十七代幹事長として、記事の原稿作成、編集、先輩への原稿依頼、企業協賛集めなどをやり遂げました。

建築計画研究部活動から引退後の4年次と大学院の2年間は、建築学を離れ、都市地理学、計量地理学、都市経済学、経済立地論に没頭しました。

この3年間で人生で一番勉強したような気がします。日本建築学会の大会では、他大学の先生から建築学の論文としての適性を問われましたが、「土地利用の純化及び混合化傾向に対応した生活関連施設の設置対応に関する研究」で高評価で修士の学位をいただけました。

産業振興を中心とするまちづくりコンサルタントとして活動していますが、建築学出身者として、4畳半の下宿から池袋に自宅・事務所を構えるまでの7年周期の引越し経験から、ライフスタイルや環境変化に応じた生活空間の確保・創出にチャレンジ出来るような生活支援に貢献できたらなと思います。

明治大学での学生生活では、総合大学としての自由さ・おらかさに救われたような気がします。大学の寛容さに基づき、六大学野球やラグビー観戦、先輩たちとのキャンパスライフ、好きなことだけに集中できる環境、恵まれた過ぎた大学生活だったかもしれせん。だからこそ、工学部十二組、建築計画研究部、建築計画第一・建築経済研究室、OBが中心となって設立したNPO法人つぎの会など、さまざまな校友とのつながりや交流の場が楽しい。豊島区地域支部もそんな場として参加していきたいと思っています。

# 大成功、マン倶楽部 OB第一回演奏会

九月二十日、前号でも紹介したマンドリン倶楽部OBメンバーで結成した「メモリアル・オーケストラ」記念すべき第一回定期演奏会が、指揮者に現役明治大学マンドリン倶楽部の常任指揮者である甲斐氏(写真下)を迎え、南大塚ホールで行われた。開場一時間前には早くも時間場を待つ方もいて、ホールはほぼ満席。初めてという事で関係者が気を揉んだ観客の入りも杞憂に終わった。終了後のメンバーの懇親会では、「もしかしたら本番が一番良かったかも?」「来年は昼夜二回に」「ロートルに二公演は無理」と様々な話に花を咲かせていた。でも来年も豊島区でコンサートをすることでは皆さん全会一致の様である。来年も乞うご期待!



指揮者 玉置さん  
懇親会では本番の出来を非常に喜んでました



※ 楽団最年長 昭和四十年卒 澤井さん(右) 安達さん(左)

※ オーケストラの華、三人衆 写真右から 北條さん 澁谷さん 荒川さん



※

昨年までは現役、大学マンドリン倶楽部のコンサートマスターを務めた佐々木君。懇親会では当たり前前にパシリに徹しました。オツカレサマ



※



※ 本間さん 高明大で 大塚育ちと あつてはわが 地域支部が ほかっておきません。若き幹事の誕生です

九月十日、区長室にてコンサートチケット五十枚を豊島区民社会福祉協議会の中村会長へ贈呈



## メモリアル・オーケストラ

### ◎第一マンドリン

日下栄作(昭和五十一年卒)  
野田 卓(昭和六十一年卒)  
大竹 彰(昭和六十二年卒)  
澁谷友梨(平成二十一年卒)  
佐々木雄大(平成二十七年卒)  
◎第二マンドリン

澤井健蔵(昭和四十年卒)  
安達 宏(昭和四十年卒)  
松本裕之(昭和五十六年卒)  
玉置孝一(昭和五十八年卒)  
磯部宏之(昭和六十一年卒)  
坂野哲也(平成二年卒)  
小門孝彰(平成八年卒)  
◎マンドラ

溝田勝彦(昭和四十二年卒)  
石井 学(昭和五十八年卒)  
高橋一彰(昭和六十三年卒)  
丸山聖志(平成四年卒)  
北條由佳(平成二十一年卒)  
荒川千祐(平成二十二年卒)  
◎マンドロン・セロ

星野知信(昭和四十五年卒)  
植草 誠(昭和五十一年卒)  
◎ギター&パーカッション

多賀谷浄繁(昭和四十年卒)  
豊永勝義(昭和五十一年卒)  
伊藤直孝(昭和六十一年卒)  
吉田未才(平成二年卒)  
本間豊明(平成四年卒)  
足達冬樹(平成二十一年卒)  
◎コントラバス

◎コントラバス  
秋山隆敏(昭和四十三年卒)  
◎アコーディオン  
加治原仁志(平成八年卒)  
◎ドラム  
三浦陽二郎(平成二十年卒)  
◎司会  
荒川大輔(平成二十二年卒)  
◎マネージャー  
池田英正(昭和五十六年卒)

## 明治・立教OB交歓会

### イン 池袋



これ も秋の名物行事となった六大学野球「対立教戦」の応援とその後の立教OB諸氏との交歓会が秋季リーグ対立教戦第一試合となった九月十九日行われた。試合の応援には「明治大学野球部を愛する会」会長の島倉さん(写真左)をリリー



ダリーに 総勢6名で学

生席に陣取り必死の応援。しかしこの日は、勝利の女神は明治には冷たく敢え無く敗戦。そのまま池袋に戻り交歓会に突入となった。交歓会には明治・



## 立教OB合わせて三十名

ほどが集まり賑やかに。そんな中、ふとお隣の席には普段見かけぬ先輩が。ご挨拶をすれば、この交歓会の噂を聞きつけ藤沢から駆けつけたと告げられビックリ。校友会藤沢地域支部「東京六大学野球



明治を応援する会」会長 佐藤さん(写真上)大洋ホ

エールズの土井、秋山と同じ学年なそうだというから、すごい行動力だ!

## 明治&立教

### コラボTシャツ

この日、明治の応援グッズを販売する大前社長が作成した粋な限定Tシャツのお披露目となった。

明治の紫紺と立教の青は若干異なるがそこは大目に見て、両大学のロゴ&マークが入ったもの。限定に目がない皆さんは早速買い求め、着替えて

宴会続行となった次第。

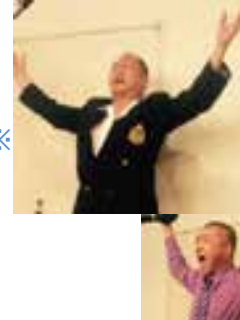
## 明立Tシャツ(写真左)

左は相撲部OB勝浦さん、右は父母会の菅澤さん



※

エール交換 明治応援団OB会事務局長・渡辺さん(上)、立教応援団OB堀内さん



※

豊島立教会会長の神尾さん 来年も宜しくお願ひします。



※

【報告 会報担当 昭和五十四年 商学部卒 坂本正秀】